

基本事業コード	05080001	担当課所名	中央公民館
基本事業名	公民館事業		
総合振興計画 位置づけ	基本柱(章)	6	健やかに成長できる「共育のまち」
	政策	3	生涯学び続けられる環境づくり
	施策	1	生涯学習内容の充実
			総合振興計画 157 ページ

基本事業の概要	社会教育や生涯学習の重要な拠点として中央公民館を中心とした市内11の公民館が連携し、「地域の人々が集い、学び、つなぐ場」を創出する。
---------	--

対象	公民館の講座・クラブに参加したい人、サークル活動に参加したい人、社会教育活動や生涯学習をしたい人、文化団体
意図 (対象をどのようにしたいか)	「地域の人々が集い、学び、つなぐ場所」として公民館を活用して、利用者を増加させる。

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
市内公民館年間延べ利用者		人	193,281	200,000	226,746	230,000	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標				単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト成果	重点化
		事業費(円)			24年度			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	目標値(上段) 実績値(下段)			
01	★ 講座・クラブ開催等公民館運営事業	指標 年間講座・クラブ開催数	8,000		回	B	◎	
		6,610,390	7,180,520	8,064,000		維持 拡充		
02	サークル育成事業	指標 年間サークル開催数	400		回	B		
		0	0	0		維持 拡充		
03	地区公民館連絡調整事業	指標 公民館連絡会議開催数	12		回	B		
		0	0	0		維持 拡充		
04	文化団体及び関係機関の育成事業	指標 文化団体加盟団体における文化祭開催数	85		%	B	○	
		720,000	720,000	720,000		維持 拡充		
05	公民館施設管理事業	指標 公民館開館日数	359		日	B		
		68,178,917	79,194,730	71,949,000		維持 拡充		
06		指標						
07		指標						
08		指標						
09		指標						
10		指標						
11		指標						
12		指標						
13		指標						
14		指標						

(参考) 最終予算額(円) 82,709,000 90,602,000

事業費の合計(円) (A) 75,509,307 87,095,250 80,733,000

財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他特定 一般財源	75,509,307	87,095,250	80,733,000

正規職員	業務量	7.35人	7.33人
	人件費(B)	43,675,582	44,130,272
臨時職員 (事業費に含む)	業務量	15.62人	15.71人
	人件費	32,636,760	32,955,313

事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B) 119,184,889 131,225,522

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	x	C, B	B, C	C
	維持	x	B	A	x
	縮小	x	C	x	x
	休廃止	D	x	x	x
	皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性				

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。 基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？
基本事業指標の分析	この事業は、地域の人々が集い、学び、つなぐ場として公民館を活用し、多くの人々に利用してもらうことを目的としており、基本事業評価指数を市内公民館の利用者とした。そのため、市内公民館の利用者数を指標とすることは適切である。なお、利用者が昨年度より増加した理由は、東日本大震災による歴史文化伝承館での中央公民館活動や、施設貸出の一部再開によるものである。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 枝番号02サークル育成事業は、公民館以外でも活動するサークルを支援し、公民館利用者の増加を図る事業である。枝番号03地区公民館連絡調整事業は、地区公民館の活動内容や運営方法など情報を共有し、より活発な公民館活動を行うための事業である。枝番号04文化団体及び関係機関の育成事業は文化団体の活動補助を行い、公民館利用者増加を図る事業である。枝番号05公民館施設管理事業は施設の利便向上により利用者の増加を目指す事業である。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 公民館の設置及び管理は社会教育法に基づく市町村の事務であり、公共性の高さ、運営の公平性の確保の観点から合理性があるものとして、自治体運営によることは妥当であると考えられる。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 東日本大震災後歴史文化伝承館の利用できる施設が減少したため、中央公民館で活動していた講座・クラブの一部を地区公民館や他の市有施設に分散して活動している。公民館活動の参加者は年々増加しているが、参加者が少ない講座・クラブもあり、さらに利用者のニーズに合った講座・クラブの開催を行っていくため、既存の講義内容の見直しや廃止なども併せて検討していく。	
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)	
予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	各公民館で行う新年度(平成26年度)募集受付などの事務の合理化や既存の講座・クラブの運営方法について情報交換を重ね、より利用者のニーズにこたえるような講座・クラブの開催を行う。  各公民館で行う新年度(平成25年度)募集受付などの事務の合理化や既存の講座・クラブ運営方法について情報交換を行い、よりニーズに合った講座・クラブの開催を行っていく。  受付業務、講座・クラブを自主的に進めるよう誘導している。参加者のニーズにこたえられよう講座・クラブの活動についても活発に活動できるよう誘導している。
短期的(1~2年以内)に実施可能な改善提案	
中長期的(概ね3~5年)に実施可能な改善提案	公民館活動の利用者数は年々増加しているが、参加者の減少等ある講座・クラブもあるので、利用者増が見込めない講座・クラブについては市内公民館全体で対応策を検討していく。
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 利用者のニーズにあった講座・クラブの開催や、既存の講義内容の見直しや廃止等も併せて検討していくことにより、コストをかけずにより多くの方に公民館を利用していただくことができる。	

基本事業執行責任者 (担当課長名)	横田 好一	電話番号 0494-22-0420
----------------------	-------	----------------------